

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【公表番号】特表2006-525099(P2006-525099A)

【公表日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-514248(P2006-514248)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 B 10/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/0408 (2006.01)

A 6 1 B 5/0478 (2006.01)

A 6 1 B 5/0492 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 B 17/00 3 2 0

A 6 1 B 10/00 N

A 6 1 B 5/04 3 0 0 J

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年7月19日(2011.7.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 8】

この「成熟」の結果子宮頸部が軟化し、これによって、胎児が子宮から出ることを可能にするために最終的に必要とされる薄化および拡張に備える。コラーゲンのグリコサミノグリカンに対する比率が減少するに従って、子宮頸部の物質はより親水性となる。これが、組織の電気伝導性における変化として測定可能な性質または特性である。かかるバイオインピーダンスの変化は、指による触診によって臨床的に検知されるよりもはるか前に、組織レベルで検知可能である。